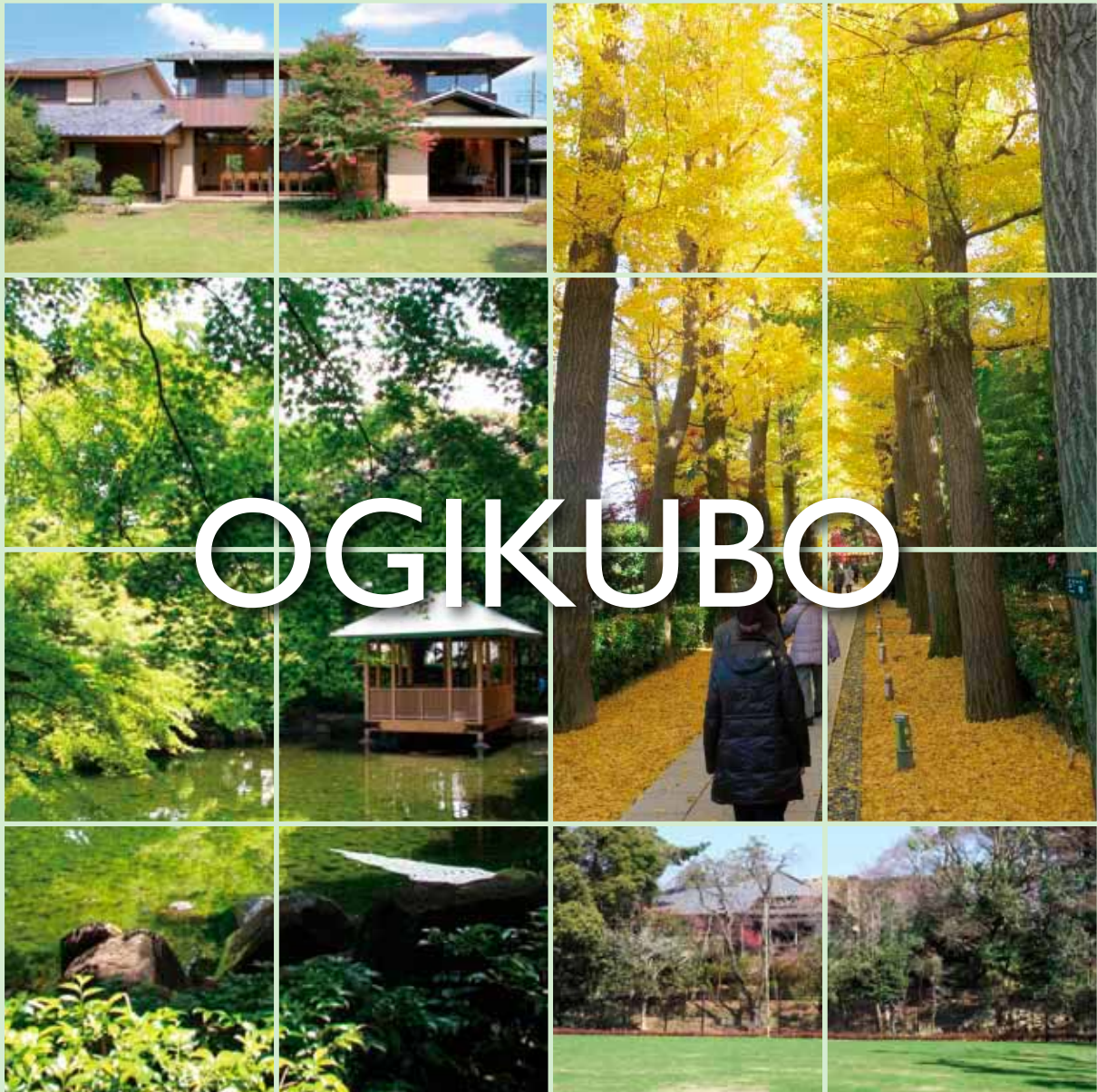


おたしの  
おぎくぼ

19号

—平成27年4月～平成29年3月—



OGIKUBO

荻窪地域区民センター協議会

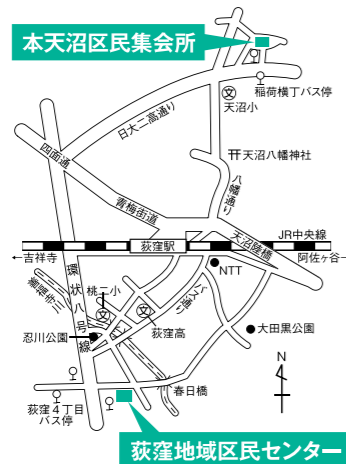
## はじめに

「荻窪地域区民センター」は、昭和54年3月に設立され現在に至っています。この小冊子「わたしのおぎくぼ」は、平成27年4月から平成29年3月までの、当協議会が主催した活動や、地域の皆さんとの交流を図った活動の報告です。ご覧いただき、多くの方々に協議会の活動に参加していただけることを願って、作成しました。

## わたしのおぎくぼ もくじ

### はじめに・もくじ

あいさつ	1
年間の委員活動	2・3
地域とつながる	4・5
地域交流部	6・7
事業企画部	8・9・10
センターカレッジ部	11・12
広報部	13
総務部・会計監事	14・15
事務局・地域活動係	16
荻窪地域区民センター協議会	17
荻窪地域区民センター エリアマップ	18・19
OB会	20
荻窪地域区民センター協議会のあゆみ	21



### 荻窪地域施設案内図

#### 荻窪地域区民センター 電話：03-3398-9125

《交通》●荻窪駅南口から徒歩10分  
●バス 荻窪駅南口から①③④番  
高井戸駅から荻窪駅行き  
荻窪4丁目下車、徒歩1分

#### 本天沼区民集会所 電話：03-5310-4633

《交通》●荻窪駅北口から徒歩15分  
●バス 荻窪駅北口から②番  
中村橋行  
練馬行  
白鷺一丁目行  
阿佐谷営業所行  
稲荷横丁下車、徒歩3～4分

## あいさつ

### 「つながり」のきっかけをつくる



荻窪地域区民センター  
協議会会長  
平山 真人

「地域区民センター協議会」(以下協議会)の委員として与えられた2期4年間の活動期間はあっという間に過ぎてしまいました。その間、常に考えさせられたのは「地域区民センターは何のために設置された施設で、協議会に求められている活動は何か」…でした。

私なりに到達した結論は「地域づくり」です。地域づくりというと抽象的で間口が広過ぎますが、簡単に言えば「地域の皆さんの仲間づくり」です。災害発生時の助け合い、一人暮らし高齢者の生活支援、子育てママの仲間づくりなどの課題を解決するベースは人と人のつながり。協議会はそのきっかけを作る役割を担っているのだと思います。

地域住民に一番近い存在は町会や商店会などですが、残念ながらそうした地域団体に加入して活動する人が減ってきています。その一方で、何か地域活動をしたいと思っている人、仲間づくりをしたいと模索をしている人が少なからずいることも事実です。協議会にはこうした団体と団体、団体と個人、個人同士をつなぐコーディネーターの役割も求められていると思います。

4年間の活動により、知らなかった地元「荻窪」を知ることができ、住民の皆さんと触れ合うことができました。これは私たち委員にとって貴重な財産です。その財産を今後も地域のために役立てていきたいと思っています。

### 参加と協働による地域社会づくり



杉並区長  
田中 良

冊子「わたしのおぎくぼ」19号の発刊を心からお祝い申し上げます。

貴協議会が、昭和54年に「荻窪地域区民センター」誕生とともに、その前身である「荻窪地域集会施設運営協議会」として、活動を始められてから38年が経過いたします。この間、同センターと本天沼区民集会所を拠点に、住民同士の交流やふれあいを育む様々な事業を通じて、良好なコミュニティの形成に多大なるご貢献をいただいています。今や貴協議会の活動は地域にとって欠かせないものとなっており、これもひとえに歴代の会長をはじめ、委員の皆様の熱意と努力の賜物であると、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

区政を取り巻く環境はここ数年大きく変化しています。区では、社会の変化に的確に対応していくために、「実行計画」「協働推進計画」「行財政改革推進計画」「区立施設再編整備計画(第1期)・第一次実施プラン」を改定し、基本構想の実現に向け鋭意取り組んでいるところです。そしてこの基本構想の実現のためには「参加と協働による地域社会づくり」が不可欠だと考えております。

貴協議会におかれましては、今後とも地域活動の担い手の「発掘」やNPO等の協働を進め、よりよい地域づくりにご協力くださいますようお願いいたします。

結びに、貴協議会の益々のご発展と委員の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

# 年間の委員活動

## 定期総会

当協議会エリアの町会・自治会・商店会をはじめ地域の方を迎え、前年度の活動報告・決算報告並びに、当該年度の活動予定・予算の承認等を行いました。

## おぎくぼセンター祭

「荻窪地域区民センター」を会場に、模擬店、舞台、展示、スタンプラリーなど老若男女が楽しめる夏祭りを企画、運営しました。

## 楽しいラジオ体操

## レクリエーション・スポーツ

障害のある人でも簡単に楽しめるスポーツ吹矢・ダーツ・輪投げを実施しました。

## 講演鑑賞会

## 防災フォーラム

地域の防災力の向上を目指し、「西荻地域区民センター」協議会など他団体との協働のもと、開催しました。

## 委員館外・館内研修

## 地域懇談会

春

夏

冬

秋



荻窪地域区民センター

本天沼区民集会所

## ディキシーランド ジャズコンサート

## アート展

「荻窪地域区民センター」を会場に、小中学校、保育園、幼稚園、自主グループや個人絵画や写真、工芸品などの作品展を開催しました。

## 新春金融経済講演会

## 荻窪音楽祭

荻窪の地域イベント「荻窪音楽祭」に自主企画として参加するとともにロビー展示を行いました。

## 本天沼集会所まつり

「本天沼区民集会所」を会場に、模擬店、舞台、展示、農産物直販などアットホームな雰囲気のお祭りを企画、運営しました。

## 荻窪寄席

耳の不自由な方でも楽しめる字幕付き落語寄席を杉並区中途失聴・難聴者の会、さくらんぼの会と協働で企画、実施しました。

## 地域とつながる

平成27～28年度は「地域とのつながり」を重視した取り組みを展開しました。小学校の土曜授業のお手伝いや地域懇談会の開催、アート展での地元作家の作品展示などです。地域団体や住民の皆さんとの距離が少し縮まったようです。



「西田小」での伝承遊び



「荻窪音楽祭」のコンサート

小学校との連携では、「天沼小学校」や「西田小学校」で行われた授業「伝承遊び」に参加し、昔取った杵柄で子ども達にコマ回しやお手玉などの遊びを教えました。「桃井第二小学校」や「西田小学校」では講談の出前授業を行い、子ども達に伝統芸能の面白さを味わってもらいました。

平成28年6月からは新たに域内5小学校の全児童にも広報紙「わたしのおぎくぼ」の配布を開始。27年度の「荻窪音楽祭」の一環として開催した「地域ふれあいマチネコンサート」では、5小学校の校歌を紹介する展示も行いました。



「桃井第二小学校」での講談出前講座



小学校校歌の展示

町会や商店会など地域団体の代表の皆さんと意見交換する「地域懇談会」は両年度とも1回ずつ開催し、ケア24(地域包括支援センター)、学校支援本部、NPO法人など幅広い関係者にも参加してもらって、センター協議会への要望・提案などを聞くことができました。



地域懇談会



広報紙「わたしのおぎくぼ」

2月恒例の「アート展」では多くの区民の皆さんの作品を展示していますが、平成27年度は杉並ゆかりの版画家「恩地孝四郎」、28年度は「棟方志功」の作品を特別展として組み入れました。地元荻窪でかつて多くの画家、版画家が創作活動をしていた一端を改めて紹介することができました。

このほか、広報紙「わたしのおぎくぼ」では連載企画「この街にこの人あり」と「町名の由来と今」を通じ、地域で活躍している人と街の歴史の紹介など“地元発見”に努めています。



「恩地孝四郎」の作品展



「棟方志功」の作品展

## 地域交流部

地域交流部は文字どおり地域の人々がふれ合い、交流できる場を設け、共に楽しむお手伝いをしています。各種イベントを企画・運営し地域の皆様が日頃より練習、努力してきた成果を「センター祭」・「本天沼集会所まつり」・「アート展」などに出演・作品展示していただいています。協議会委員と一緒に創りあげている地域参加の大事業です。



左から中澤、平木、柴田、川田、北山、岡田、西森

### 楽しいイベントで地域の皆さんと交流

地域交流部は、地域の皆さんに日頃の文化・創作活動などの成果を発表していただき、共に楽しみつつ交流する場づくりをしています。主なものは7月の「おぎくぼセンター祭」、10月の「本天沼集会所まつり」、2月の「アート展」です。

「センター祭」では、若い人から高齢の方まで多世代に参加していただくよう工夫をしました。特に子どもたちが出演したり、展示・デモンストレーションしたりする企画を多く採り入れました。近隣の小中学校生徒の合唱や吹奏楽演奏、工業高校の鉄道模型の運転等はとても好評でした。



「アート展」では、区民の皆さんの多彩な作品と合わせて、杉並ゆかりの版画家の作品を展示しました。27年度は恩地家のご協力により「恩地孝四郎」の作品を、28年度は本人から寄贈された作品を所有する天沼中学校のご協力により「棟方志功」の作品を展示しました。鑑賞した多くの人から「巨匠の作品を見られる貴重な機会だった」と



喜ばれました。

「障害者団体連合会」と共催している「レクリエーション・スポーツ」では、ダーツ、吹き矢、輪投げを障害のある人たちも一緒に楽しんでいただきました。「荻窪音楽祭」の一環として開催しているのが「地域ふれあいマチネコンサート」。28年度は地下体育室を会場とし、グランドピアノを使用しました。音響がよく本格的な雰囲気となったと音楽愛好者から好評を得ました。

こうしたイベントで地域の皆さんと交流するたびに、皆さんが大変楽しみにされていることが伝わってきます。期待に応えられるようこれからも努力してまいります。



### おぎくぼセンター祭

回数	開催年月日	出演・展示	来館者
第37回	平成27年7月18・19日	桃二小早朝合唱合奏クラブ、荻小ソーラン、松溪中吹奏楽、フラ・レファ、フラ・ボーアイ・ナレイ(フラダンス)、マロニエコーラス、ヴォーレ(コーラス)、大宮前郷土芸能保存会(神楽)、トアルアイ(パントワリング)、杉の実会、ふよう会(大正琴)、龍(和太鼓)、わかかさ会(日本舞踊)、ゴンゾー(どじょうすくい)、南京玉すだれ(昔遊び)、シップス(バンド演奏)、シルバー人材センター(ファッションショー)、スタンプラリー、模擬店(ソフトドリンク、パン、綿あめ、とうもろこし、焼きそば、いなり寿司、団子)、南伊豆水産物販売、小千谷市農産物販売、東日本震災支援販売、花木販売、包丁研ぎ、子供コーナー	1,600名
第38回	平成28年7月23日		1,250名

### 本天沼集会所まつり

回数	開催年月日	出演・展示	来館者
第23回	平成27年10月4日	天沼小合唱、山本さくら(パントマイム)、ココリコ(オカリナ演奏)、わかかさ会(日本舞踊)、ゴンゾー(どじょうすくい)、マロニエコーラス、シップス(バンド演奏)、保育園・児童館の作品展示、模擬店(ソフトドリンク、コロッケ、肉・あんまん、綿あめ、焼きそば、いなり寿司、団子)、小千谷市農産物販売、東日本震災支援販売、花木販売、緑の相談窓口、包丁研ぎ	600名
第24回	平成28年10月16日		670名

### アート展

回数	開催年月日	出演・展示	来館者
第37回	平成28年2月6・7日	自主グループの作品・一般公募の作品展示 隔年にて小中学生(27年度)、幼稚園児・保育園児(28年度)の作品展示	850名
第38回	平成29年2月25・26日	特別展として「恩地孝四郎」(27年度)・「棟方志功」(28年度)の作品展示	960名

### 協働事業

開催年月日	イベント	来館者
平成27年6月14日	障害のある人でも簡単に楽しめる「レクリエーション・スポーツ」(障害者団体連合会との共催) スポーツ吹き矢、ダーツ、輪投げ	60名
平成28年6月12日		70名
平成27年11月6日	自主企画開催による「荻窪音楽祭」への参加(「地域ふれあいマチネコンサート」)	120名
平成28年11月12日		120名

### 地域交流

開催年月日	イベント
平成27年12月13日	川南共栄会の餅つき大会支援
平成28年12月11日	川南共栄会の餅つき大会支援
平成28年1月9日	天沼小「伝承遊び」支援
平成28年12月10日	西田小「昔遊び」支援
平成29年3月11日	天沼小「伝承遊び」支援

## 事業企画部

事業企画部の講座は、一般のカルチャーセンターとは異なり、学ぶきっかけをつくるものと位置付けています。様々なニーズが求められる昨今、文学・歴史・スポーツ・趣味など、偏らないテーマをバランスよく考えることを日々検討しています。また、新しい企画の講師を依頼することも企画部の重要な仕事です。



後列左から武藤、牧、松井、加藤  
前列左から上池、手代木、山本

事業企画部は、地域の方々の健康維持と増進、また知識、趣味、教養に関する講座を企画し、実施しています。概ね募集を上回る応募があり、受講された皆さんから好意的な評価を頂いています。

とくに「ラジオ体操」や「スポーツ吹き矢」など、継続を希望する声が多い講座は、当センターの定番的な存在となっています。



ラジオ体操



健康スポーツ吹き矢

また27年度に行った「伊勢物語」の講座のように再開するほどの好評をいただいたものもありました。

一方で、受講者が高齢層に偏る傾向が強くなってきています。そのため多世代の人々に参加してもらう試みも進めました。「ふれあいベビーヨガ」「幼児期の子育て」、「パパ・ママごほん読んで」など若いママさん達を対象にしたものや、「親子で学ぶ昆虫の世界」、「宇宙に挑む“はやぶさ”兄弟」や「戦争の一断面—陸軍登戸研究所」など子供たちや男性を強く意識した講座も開催しました。これらは、部員がそれぞれの人脈を生かして発掘に取り組んだものです。

その他、平成28年から地域に長く住んでいる方々の話を伺って荻窪の住宅地としての形成過程を探る「荻窪の記憶」プロジェクトを開始するなど新たな試みにも挑戦しています。



ふれあいベビーヨガ



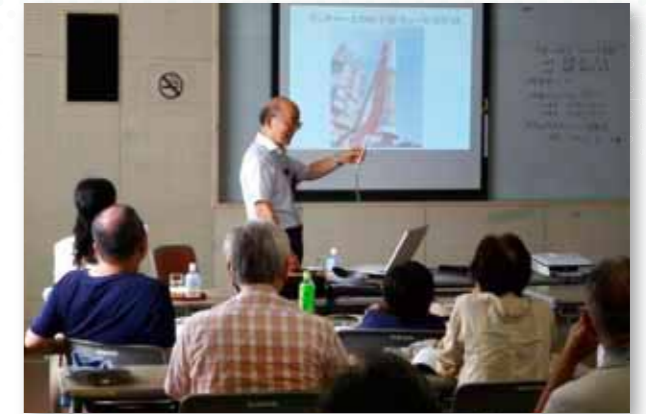
いきいき朗読教室



J:COMの取材を受けた「親子で作る夏のアロマ」



“風船爆弾”「戦争の一断面—陸軍登戸研究所」より



宇宙に挑む“はやぶさ”兄弟



「荻窪の記憶」の講演：「戦前の野球ブームを語る」



秋を楽しむ工作教室

## 講座内容一覧表

### ■平成27年度実施学級講座 平成27年4月1日～平成28年3月31日

	講座名	講師	実施回数	延べ参加人数
4月	俳句でたどる『奥の細道』	日下野由季	4	214
	健康スポーツ吹き矢	牧野 繁男	4	121
5～6月	エッセイを書いてみましょう	佐々木欣三	4	117
	楽しいラジオ体操	銚立 和子	4	129
6月	伊勢物語	貝瀬 弘子	4	253
7月	親子で作る夏のアロマ	大久保まりえ	1	26
8月	科学教室「宇宙に挑む“はやぶさ”兄弟」	高野 忠、相馬央令子	2	64
	夏の星座を眺めましょう(移動プラネタリウム)	社会教育センター	1	66
9月	俳句の世界	林 誠司	4	85
	認知症予防のノウハウ	仲本 桂子	2	47
10月	ストレッチ&リズム体操	後藤 鈴香	4	103
	いきいき朗読教室	岡 摂子	4	126
11月	伊勢物語(再開催)	貝瀬 弘子	4	220
	クリスマスリースを手作りで	渡辺 邦子	1	23
	秋を楽しむ工作教室	山室 京子	1	20
1月	手話で会話をしてみましょう	猪股 恵	4	84
2月	春を彩るテーブルメニュー	吉村 静子	1	24
3月	荻窪の川を巡る	野田 栄一	2	51
	石井桃子のかつら文庫	内藤 直子	2	53

### ■平成28年度実施学級講座 平成28年4月1日～平成29年3月31日

	講座名	講師	実施回数	延べ参加人数
4月	荻窪ゆかりの作家の短編を読む	生田 美秋	4	75
	健康スポーツ吹き矢	牧野 繁男	4	90
5月	ボイストレーニング	立林 淳	4	153
5～6月	楽しいラジオ体操	銚立 和子	4	134
6月	大正・昭和に活躍した女流俳人	日下野由季	4	101
	「荻窪の記憶」-1 住宅地の誕生	幸田有美子	1	54
7月	親子で学ぶ昆虫の世界	古川 沙織	1	33
8月	戦争の一断面-陸軍登戸研究所	山田 朗	1	66
	親子で作るアロマワックスバー	大久保まりえ	1	16
9月	ふれあいベビーヨガ	大坪三保子	1	19
	みんなのエッセイ塾	佐々木欣三	4	87
	「荻窪の記憶」-2 戦前の野球ブームを語る	森泉 海	1	16
10月	ストレッチ&リズム体操	後藤 鈴香	4	111
	認知症の早期発見と予防	仲本 桂子	2	40
11月	自分の一句を残しましょう	高橋 白崔	4	80
	秋を楽しむ工作教室	山室 京子	1	15
12月	パパ・ママごほん読んで	北川美絵子	2	14
1月	幼児期の子育ては思春期を左右する	西東 桂子	1	26
2月	「荻窪の記憶」-3 軍人町と2.26事件	寺田 格郎	1	69
	発酵食品で春のクッキング	吉村 静子	1	25
3月	背骨を鍛えよう! 腰痛すっきり体操	高橋 晃史	2	30*

\* 募集定員

## センターカレッジ部

センターカレッジ部は講演やコンサートなどを企画・開催する部で、経済、社会課題などについて専門家に解説してもらった講演や、レベルの高い音楽グループの演奏などを企画しています。その意味で「センター」(区民センター)の「カレッジ」(大学)という名前が付いています。センターカレッジ部は13年の歴史がありますが、こうした部は他の区民センターにはなく、荻窪の特色の一つです。

講演会やエンターテインメントなど、やや規模の大きなイベントを企画し、実施するのがセンターカレッジ部です。この2年間は人員不足から事業企画部と一体で運営を行いました。

今期で特筆すべきことの一つは平成28年1月に実施した講演会「キューバ大使大いに語る」でした。現職の駐日大使がセンターで講演されること自体、杉並区にとって例がなく、参加者は、50年ぶりに米国と国交回復したキューバの現状を知ると共に、日本との深い関わりを改めて認識しました。



講演出前授業(桃二小)

当センターとして独自色の強い催しに、ここ数年続けている字幕付きの「荻窪寄席」があります。聴覚障害の方々にも、真打ちの落語家の芸を存分に楽しんでいただけ、喜びと感謝の声が寄せられています。



キューバ大使講演会

もう一つは平成27年から講演鑑賞会を始めたことです。これもセンターでの公演だけでなく、近隣の小学校(平成27年は西田小、28年は桃二小)の子供達に我が国の伝統話芸を学んでもらうため、出前授業も行い好評でした。

その他、平成28年6月に開催した「大人のワイン講座」も実際に試飲しながらワインの種類を学んだり、クイズを楽しむことができ大好評でした。



大人のワイン講座

## 講演・催し物内容一覧表

### ■平成27年度実施講演・催し物 平成27年4月1日～平成28年3月31日

◎協働事業

開催月日	講演・催し物名	講師・演者	協働先	参加人数
8月29日	◎講演鑑賞会	神田 山緑 田辺 銀治	荻窪警察署	57
9月6日	◎防災フォーラム（荻窪）	福和 伸夫	西荻地域区民センター協議会	250
11月15日	相続税と成年後見制度	黒瀧 泰介 神谷 能文	杉並区中途失聴・難聴者の会	20
12月13日	◎荻窪寄席	金原亭馬玉 翁家 和助		82
1月16日	キューバ大使 大いに語る	マルコス・ロドリゲス 駐日キューバ大使		52
1月23日	◎新春経済講演会 「身近な経済2016」	山田 敏次	東京都金融広報委員会	37
2月27日	荻外荘は荻窪活性化の決め手になるか？	高見澤邦郎		54

### ■平成28年度実施講演・催し物 平成28年4月1日～平成29年3月31日

◎協働事業

開催月日	講演・催し物名	講師・演者	協働先	参加人数
6月19日	大人のワイン講座	華山 弘子		29
8月6日 8月7日	◎科学教室「最前線の宇宙研究 から宇宙旅行まで」	高野 忠 相馬央令子	JAXA	41
8月27日	◎講演鑑賞会	神田 山緑 田辺 銀治	桃井第二小学校	57
9月10日	◎防災フォーラム（西荻）	大里 宣之	西荻地域区民センター協議会	330
10月22日	元駐ミクロネシア大使 大いに語る	鈴木 栄一		34
12月11日	◎荻窪寄席	金原亭馬玉 翁家 和助	杉並区中途失聴・難聴者の会	75
1月14日	◎新春経済講演会 「2017年の経済動向と暮らし向き」	石森 久雄	東京都金融広報委員会	27
1月22日	幼児期の子育ては思春期を 左右する	西東 桂子		26
3月18日	春のディキシーランドジャズ コンサート	マチルダ・フォー		60*

\*募集定員

## 広報部

広報部の仕事は、当センターで行われる行事や、各種の講座に関するお知らせすることです。また、地域や住民の皆さんに関する情報を収集して、皆さんにお知らせすることも大切と考えています。具体的には、広報紙「わたしのおぎくぼ」の編集・発行、ホームページの運営・管理をしています。広報部員は3名から4名で、毎週火曜日の午前中に活動しています。



左から齋藤、宇田川、内藤

### ■広報紙「わたしのおぎくぼ」の発行

「わたしのおぎくぼ」（A4判4頁）を、2か月に1度、年6回発行しています。「センター祭」を初めとするイベントや、各種講座の紹介や報告が主な内容ですが、そのほかに自主企画として、地域の文化や人物をとりあげるコーナーも設定しています。この2年間に「この街にこの人あり」「ぶらり町歩き」「町名の由来と今」をシリーズとして、掲載しました。

配布は、町会の回覧板や区の施設の他、人が立ち寄ることが多い医院や店舗などに置いていただいています。さらに2016年6月・7月号より、小学校5校に配布することとなり、作成部数も5,500部から8,000部へと増やしました。

今後も、多くの方々に読んでいただける広報紙をめざして、皆さんからのご意見を伺っていきたくと考えています。

### ■ホームページの運営・管理

HPは、協議会の主催するイベントや、講座・講演を掲載しています。広報紙「わたしのおぎくぼ」もダウンロードしてご覧いただけます。2013年11月にリニューアルしたHPですが、より一層の使い易さ、内容の充実を図るため、2016年HP改善委員会を立ち上げました。広報部だけでなく他の部員達と知恵を出し合って、改善を図っていきます。是非HPにアクセスしてみてください。





## 総務部

総務部は協議会活動が円滑に運営されるよう各事業担当部や行政、事務局との連絡調整を行いながら、事業遂行に伴う経理及び諸々の総務事務を担当します。また、総会・役員会・委員会の運営、さらには、地域団体・利用者との交流を深める懇談会の企画、委員相互の親睦や知見を広めるための研修など、他部門に属さない業務を担当し協議会活動を支えています。



左から石川、篠、大庭、鈴木

テーマ:「みんなの安心・安全フェスタ～72時間をどう生きるか～みんなで一緒に体験しよう!!」



### ■館外研修

- ・平成27年10月26日  
JAL工場・警視庁本部見学
- ・平成28年10月24日  
くりはま花の国と横須賀市の無人島・猿島を見学

### ■館内研修

- ・平成28年2月27日  
委員研修の一環として「荻外荘は荻窪のまちづくりの決め手になるか」の講演を全員で聴講
- ・平成29年2月28日  
「協議会の活動全般」について課題提起と意見交換及び質問・応答

## 会計監事

会計監事は当協議会の会則上定員2名で、各期の委員から1名ずつ選任されています。

業務は主として、杉並区からの補助金により運営されている当協議会の財務処理が適正に行われているかを検査します。

会計年度を2期に分け、上期(4～9月)については10月に、下期(10～翌3月)については翌4月に、諸帳簿、領収書等証拠書類を照合、検査し、5月の定期総会で前年度の収支決算についての監査結果を報告します。

この他、月例の役員会(正副会長と部長、会計

参加者:委員全員、行政、協議会事務局

### ■自衛消防訓練への参加

- ・平成27年9月14日
- ・平成28年9月12日  
毎年9月行政に協力して、区民センター全館の自衛消防訓練に参加

### ■クリーン大作戦

- ・平成27年10月6日  
環状八号線沿い歩道の清掃実施
- ・平成28年10月4日  
事務所内および倉庫備品及び保存文書の棚卸しと整理を実施

### ■七館連絡会

杉並区内7カ所の地域区民センター協議会総務部門の委員が集い、情報と意見交換

- ・平成28年2月12日  
「高円寺地域区民センター」にて開催
- ・平成29年2月10日  
「永福和泉地域区民センター」にて開催



左から光行、竹内

監事)と委員会(委員全員)に出席し、協議会活動の全体を把握します。会計監事は会則上各部の部員としての活動はできませんが、「センター祭」など全館行事には参加し、協議会各部の委員との交流を図るようにしています。

### ■総会

定期総会は5月に開催され、前年度の事業報告・決算報告と、新年度の事業計画案・予算案について審議

平成27年度:平成27年5月8日

平成28年度:平成28年5月13日



- ・平成28年10月28日  
「地域づくりの担い手としての『団塊の世代』を考える」についての講演と参加者による意見交換と懇談



### ■協働事業

- ・平成27年9月6日  
「防災フォーラム2015」を「西荻地域区民センター」と協働で開催

テーマ:「油断していませんか!大災害!!  
～もう一度、自分と地域を見直そう!～」

基調講演:「過去に学び大地震に備える」  
講師:名古屋大学減災連携研究センター長・  
教授 福和伸夫氏



- ・平成28年9月10日  
「防災フォーラム2016」を「西荻地域区民センター」において協働で開催

## 事務局・地域活動係

事務局は、協議会活動が円滑に進むようサポートするため荻窪地域活動係とともに活動しています。

事務局機能としては事務局長、地域活動係長以下常勤、非常勤6名体制で経理や協議会物品の貸し出し、区や他の官公庁とのやり取りなど広範な業務を担っています。



左から中村、石井、惣田、大林、安田、榎田

### ■事務局

#### 協議会活動の充実に向けて

区では地域活動団体とNPO法人等との協働を進め、相互に連携・協力し主体的に地域の課題に取り組んでいくことを目指しています。こうした考えのもと、協議会では「ふれあいと交流」を基本に、地域で活動する様々な団体を結んでネットワークを作り、地域の活性化に取り組んでいます。そこで事務局では、協議会の活動が円滑に進むように、様々なサポートを行っています。事務局機能としては、事務局長以下事務局職員が、経理や協議会物品の貸し出し、区や他の官公庁とのやり取りなどの業務を担っています。

29年度からは新たに第21期の委員が加わり、地域との協働に取り組んでいくことになります。新たな協働や団体のネットワーク化を目指した事業の運営ができるように、引き続き事務局も一丸となって、様々な形でサポートを行い、協議会活動の充実を図ってまいります。

### ■荻窪地域活動係

荻窪地域活動係は荻窪地域区民センター協議会活動をサポートするほか、地域の皆さんの活動の場である「荻窪地域区民センター」、「本天沼区民集会所」、「荻窪会議室」の3つの施設を快適に利用していただけるよう、施設や備品の管理、修繕などの仕事をしています。また、天沼地区、荻窪地区の町会・自治会活動のサポートを行うとともに、区役所の地域係と協力し、町会の加入促進に向け、取り組んでいます。また、イベントや地域交流会などの機会には、協議会との協働にとどまらず、センターの利用者や利用団体同士が交流し、協働の輪がさらに広がることを目指した取組を行っています。皆さまが住んでよかった、と思える住みよい地域となることを願い、日々仕事に取り組んでいます。私たちは、地域と区を結ぶ窓口です。ぜひ、お気軽にお声をおかけください。



町会・自治会に加入しませんか

◎安心・安全 ◎防災対策 ◎環境美化 ◎祭り

## 荻窪地域区民センター協議会

### ■協議会の構成と活動

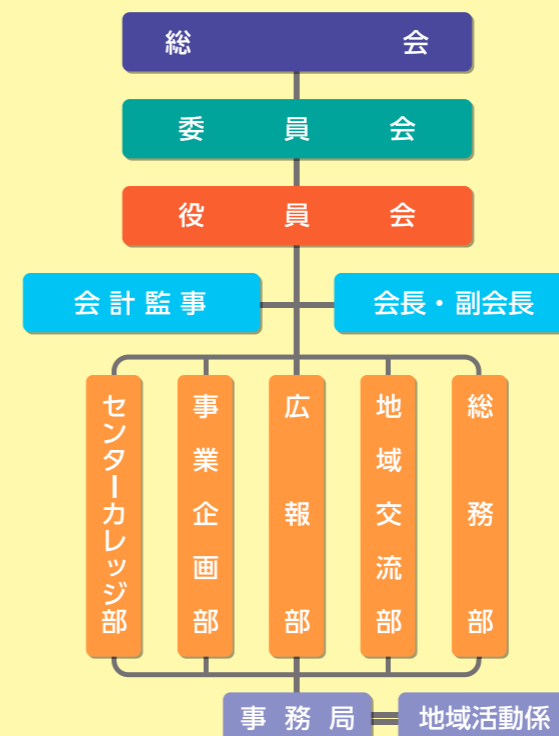
当協議会は、荻窪地域内の町会・自治会、商店会、小・中学校PTA、青少年育成委員会、民生委員などの団体推薦委員と公募委員を合わせて38名以内のボランティアで構成され、住民自治のもとに地域住民の相互の交流と活動の拡大を図り、地域の豊かなまちづくりを進めています。

委員の任期は、1期2年で2期を限度として現在約30名の委員が会長、副会長、会計監事、総務部、地域交流部、事業企画部、センターカレッジ部、広報部に分かれて活動しています。

会の活動内容は、各種学級講座・講演会の開催、他団体との協働事業の企画・運営、まつり、アート展などの集団事業の開催、広報紙の発行・ホームページの運営など地域のコミュニティ形成に必要な事業を行っています。

活動は「荻窪地域区民センター」及び「本天沼区民集会所」を中心に行っています。

#### 荻窪地域区民センター協議会の運営組織図

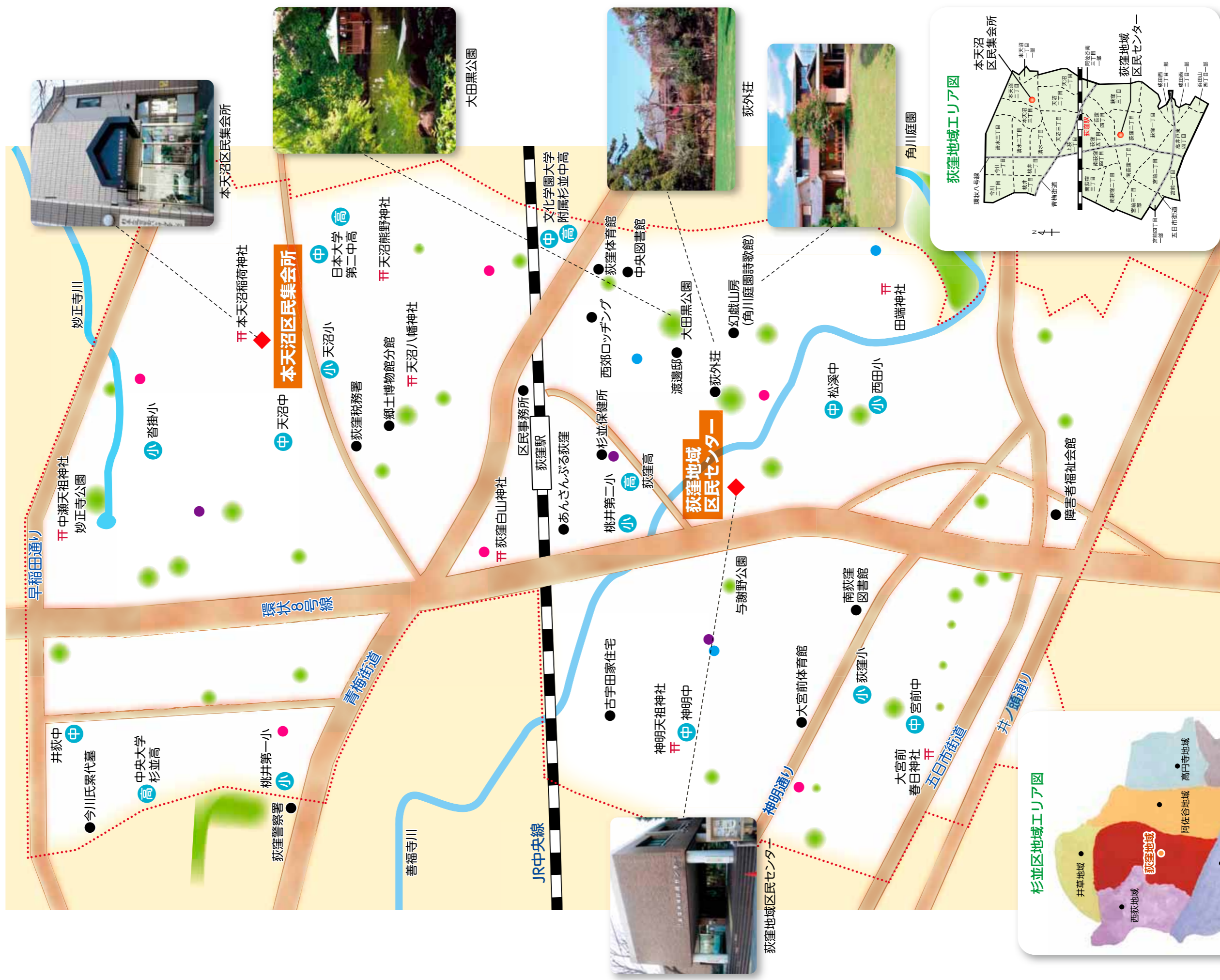


### ■19期・20期委員の構成

役職・所属	氏名	参加区分
会長	平山 真人	* 地域住民
副会長	大庭 成子	* 地域住民
	手代木 扶	* 地域団体:町会
会計監事	光行 博實	* 地域団体:高齢者団体
	竹内すみ代	地域団体:町会
総務部 (経理担当)	◎ 篠 孝春	* 専門委員:民生委員
	大庭 成子	* 地域住民(副会長を兼務)
	小川 絵里	* 地域団体:町会
	石川まり子	地域住民
	鈴木 葉子	地域団体:町会
地域交流部	◎ 川田 忠通	* 地域住民
	田中 和子	* 地域団体:町会
	岡田 一夫	* 地域団体:町会
	北山 勝彦	地域住民
	佐藤 陽子	地域住民
	柴田 光枝	地域団体:高齢者団体
	中澤 一郎	地域住民
	西森多美子	地域団体:町会
広報部	◎ 宇田川 康	* 地域団体:町会
	内藤まゆみ	地域住民
	齋藤 昭雄	地域住民
事業企画部・ センター カレッジ部	◎ 手代木 扶	* 地域団体:町会(副会長を兼務)
	木村 アツ	* 地域住民
	加藤 美子	地域住民
	牧 三千夫	地域団体:町会
	松井 和男	地域団体:町会
	武藤 由美	専門委員:民生委員
事務局長	山本 光俊	地域住民
	上池 敏子	地域住民
	大林 俊博	
	安田 聡彦	
地域活動係	中村 剛	
	惣田美和子	
	榎田 薫	
	石井 明美	

◎は部長 \*は19期

# 狹窪地域区民センター エリアマップ



本天沼区民集会所



大田黒公園



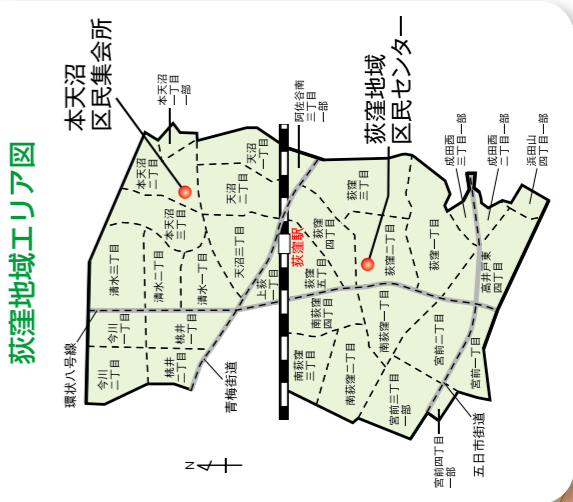
狹窪地域区民センター



狹外荘



角川庭園



- 公園・緑地
- ⚡ 神社
- ケア24
- 児童館
- ゆうゆう館

## OB会 OB会員の親睦を深め、現役委員の活動を支援

### ■会員と幹事

OB会員は現在130名で、第1期～18期の希望者で構成しています。このうち幹事は14期～17期会員から各々2名ずつ、18期から8名、事務局から1名が選出され、合計17名で幹事会を組織し、会の運営に当たっています。

### ■総会

OB会会則に従って2年ごとに総会を開催し、役員を選出、予算決算の承認、活動方針の議決などを行います。

### ■幹事会

幹事会は会員相互の親睦のための旅行の企画・実施などを行います。実働委員として18期の幹事が会の円滑な運営に必要な実務を行っています。

### ■行事参加と現役委員の活動支援

区民センターの3大行事である「おぎくぼセンター祭」「本天沼集会所まつり」「アート展」に参加し、支援を行っています。平成27、28の両年度は18期会員が「OB会カフェ」を開設して、来館者をもてなしました。年末恒例の「荻窪寄席」の準備では一部OBがお手伝いをしました。



### ■親睦旅行

会員相互の親睦と近況報告等の機会となるバス旅行を年1回企画しています。現役委員も数名参加しており、期をまたいだ交流の場にもなっています。

27年度は11月26日、「山梨県立リニア見学センター(都留市)」と「勝沼ワイン工場」を見学しました。超電動リニアの走行試験では2027年一部開業を目指す次世代新幹線のスピードを実感し、そのメカニズムについても学習しました。



28年度は11月14日、神奈川県小田原名物のかまぼこ手作り教室を体験し、南足柄市のビール工場を見学しました。ビール工場ではヒット商品の製造工程をじっくり見学した後、幾つかの種類のビールを試飲。初めてのかまぼこちくわの手作り体験では、童心に返って手作りを楽しみました。



### ■荻窪地域区民センター協議会のあゆみ

昭和53年 (1978)	10月	●「荻窪地域区民センター運営協議会」設置
昭和54年 (1979)	2月	● センター報「わたしのおぎくぼ」創刊
	3月	● 杉並区内で初の区民センター誕生
	4月	● 第1回運営協議会総会
	10月	● 第1回「文化祭」
昭和55年 (1980)	3月	● 第1回「おぎくぼ7月祭」
	6月	● 第1回「美術展」
昭和62年 (1987)	4月	● 区民センター運営協議会の運営が住民に委託される
平成4年 (1992)	7月	● 「荻窪地域区民センター運営協議会」が「荻窪地域集会施設運営協議会」と改称
	11月	● 「本天沼区民集会所」開館
平成5年 (1993)	11月	● 第1回「本天沼集会所まつり」
平成9年 (1997)	3月	● 第18回「おぎくぼ7月祭」
	7月	● 第19回「おぎくぼ7月祭」
平成10年 (1998)	9月	● 20周年記念講演
	11月	● 設立20周年祝賀会開催
平成14年 (2002)	7月	● 「おぎくぼ7月祭」の名称を「センター祭」に変更
平成15年 (2003)	3月	● 「美術展」を「アート展」に変更、第24回「アート展」
平成16年 (2004)	12月	● 荻窪運協ホームページを開設
平成18年 (2006) 5月～8月		● 荻窪地域区民センター館内大規模改修のため「荻窪会議室」へ一時移転
平成21年 (2009)	2月	● 設立30周年記念講演、コンサート
	3月	● 設立30周年記念式典
	9月	● 協働事業第1回「防災フォーラム」を「西荻地域区民センター」と共催
平成22年 (2010)	4月	● 「荻窪地域集会施設運営協議会」を「荻窪地域区民センター協議会」に名称変更
平成26年 (2014)	10月	● 「荻窪音楽祭」に自主企画で参加

### ■2年間のあゆみ(2015年4月～2017年3月)

平成27年度 (2015)	5月8日	● 平成27年度定期総会	
	7月18日・19日	● 第37回「センター祭」	
	9月6日	● 第7回「防災フォーラム」(会場:「荻窪地域区民センター」)	
	10月4日	● 第23回「本天沼集会所まつり」	
	11月6日	● 「地域ふれあいマチネコンサート」(「荻窪音楽祭」)	
(2016)	1月16日	● キューバ大使講演会	
	2月6日・7日	● 第37回「アート展」(「恩地孝四郎」作品も)	
	2月27日	● 講演会「荻外荘とまちづくり」	
	3月4日	● 平成27年度地域懇談会	
平成28年度 (2016)	5月13日	● 平成28年度定期総会	
	6月	● 広報紙「わたしのおぎくぼ」小学校5校全員配布開始	
	6月18日	● 「荻窪の記憶」講演シリーズ 第1回「住宅地の誕生」	
	7月23日	● 第38回「センター祭」(都知事選期日前投票のため、1日のみの開催)	
	9月10日	● 第8回「防災フォーラム」(会場:「西荻窪地域区民センター」)	
	10月16日	● 祭24回「本天沼集会所まつり」	
	10月28日	● 平成28年度地域懇談会	
	11月12日	● 「地域ふれあいマチネコンサート」(「荻窪音楽祭」)	
	(2017)	2月24日・25日	● 第38回「アート展」(「棟方志功」作品も)



おぎくぼ  
 広報誌 **おぎくぼ** 19号

表紙：角川庭園、荻外荘、大田黒公園  
 裏表紙：雪の大田黒公園、荻窪2丁目の表示、アンネのバラ、紅葉の大田黒公園、紫陽花、  
 新緑の天沼弁天池、桜の善福寺川沿い

■発行：平成29年3月31日  
 ■発行者：荻窪地域区民センター協議会  
 東京都杉並区荻窪2-34-20 〒167-0051  
 TEL:03(3398)9127  
 FAX:03(3398)9128  
 メールアドレス:ogikubo-unkyo@fancy.ocn.ne.jp  
 ホームページ:http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp

■編集委員  
 平山 真人・大庭 成子  
 手代木 扶・中澤 一郎  
 牧 三千夫・宇田川 康  
 内藤まゆみ・齋藤 昭雄